

# 麗気烈風

令和3年4月28日(水)

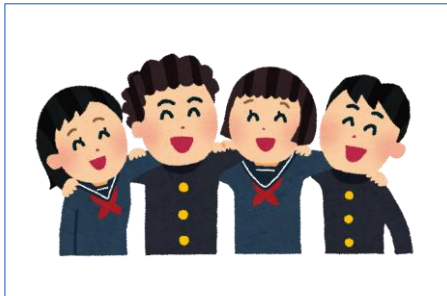
文責 村田和人

## ～【言葉は人をつくれます】～

月曜日、ちょうど7時くらいに学校に着きました。その日は夏日の気温になるだろうとの予報でしたが、早朝はヒヤッとする冷涼さがありました。駐車場に車を止め、降りると、体操服を着た一人の女子生徒が既に生徒昇降口で待っていました。

「おはよう。早いね。」と言うと、さわやかに「はい。少し家を出るのが早すぎました。」と答えてくれました。「少し寒いようだから、風邪ひかないようにね。」と私が言うとその生徒は「はい。ありがとうございます。」と返してくれました。

「はい。」で会話が終わると、「ありがとうございます。」で会話が



が終わるのでは、それを受け取った者の気持ちは全く違ってきます。会話の最後に「ありがとうございました。」と付け加えるということは、その人の思いやり、やさしさを言葉に乗せて相手に伝えるという意味があると思います。その言葉を受け取った人もやさしく、あたたかい気持ちになります。

「言葉は人をつくる。」といいます。人が言葉をしゃべるのだから「人は言葉をつくる。」の方が正しいのでは、と思う人もいるかもしれません。正確には「人は言葉を発し、言葉は人をつくる」と表現した方がいいかもしれません。

いつも「きつい、だるい、うるさい」が口癖の人がいるとします。この人は親、先生、クラスメート、誰と話すときでも「きつい、だるい、うるさい」と思わず言ってしまいます。すると何気ない、いつもの日常生活の中でもきついこと、だるいこと、うるさいことばかりに意識が向いて、そればかりが気になって、またまた「きつい、だるい、うるさい。」の言葉が口から出てしまいます。そうしているうちに世の中、きついこと、だるいこと、うるさいことしかないように思えるようになります。たった一度しかない人生、これでは本当にもったいないとは思いませんか。

そして「ありがとうございました。」の言葉が自然に出てくる人。冒頭に紹介した女子生徒も含まれると思います。「ありがとうございます。」が自然

に出てくる人は、人の善意、やさしさをよく理解し、それに対して本当に感謝することのできる人なのだろうと思います。人の善意、やさしさが理解できるということは、その人も他者に対してそのように接しなければならないと思い、やはり友達に対してもやさしく、気配りをもって接することができていると思います。きっと誰からも好かれ、頼られる存在であるはずで

す。荒んだ言葉を遣ってばかりいると、やはり心も荒んでくる。思いやりを持った丁寧な言葉を遣うように心がけていると、心もやさしい人になっていく。言葉遣いとは想像以上にその人の人間性に大きな影響を与えるものです。

鹿南中生の皆さん。自分の言葉遣いを振り返ってみてください。

## ～【読書の勧め】～

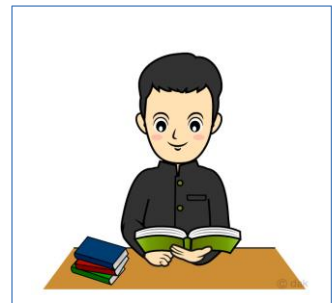
言葉は人間性に大きな影響を与えると同時に、その人の思考力、判断力にも大きな影響を与えます。

「雨」を表す言葉を皆さんはいくつ知っていますか。雨、大雨、小雨、……おそらく10個も思いつかないでしょう。一説によると古来日本語には雨を表す言葉が400種類(!)程あったそうです。もともと日本語はとても繊細な言葉で、昔の日本人は私たちの何倍もの敏感さで雨を見つめていたのでしょうか。

当たり前ですが、私たち日本人は日本語で考えます。ですから、日本語をどれだけたくさん知っているかで、物事の見方、考え方が大きく異なってきます。言葉をたくさん知っていること＝複雑な思考ができる、ということだと思います。

言葉をたくさん覚えるためには……読書しかありません。あなたの好きな作家は誰ですか?と聞かれてさっと答えられるようになったらいいですね。

明日からゴールデンウィークに入ります。新型コロナウイルス感染拡大が心配され、なかなか旅行へも行けないかもしれません。こんな時こそ読書の習慣をつけるチャンスと思い、たくさんの本に出合っ



保護者の皆様へ。SNSによるトラブルが全国的に頻発しているようです。毎日とは申しませんが、少なくとも週1回は子どもさんのスマホをチェックしてあげてください。子ども達を、スマホによるトラブルの被害者にも、加害者にもしたくありません。どうかご協力をお願いします。学校と家庭で力を合わせて、子ども達を守りましょう。